

ながまち荘

VOL 57

だより



編集発行

社会福祉法人  済生会支部山形県済生会 特別養護老人ホーム **ながまち荘**

〒990-0811 山形市長町751番地

- 指定介護老人福祉施設 TEL(023)684-2391 (代表) FAX(023)684-2394
- 指定短期入所生活介護事業所 (介護予防短期入所生活介護事業所) TEL(023)681-5732
- 指定通所介護事業所 (介護予防通所介護事業所) TEL(023)681-7589
- 済生会なでしこ地域包括支援センター TEL(023)681-7450 FAX(023)681-7603
- 指定居宅介護支援事業所 TEL(023)681-2865
- おれんじサポートチームえがお (認知症初期集中支援業務・認知症地域支援推進業務) TEL(023)687-0200 FAX(023)687-0211

発行責任者 施設長 岩崎勝也

発行日 令和7年3月吉日

印刷 コロニー印刷

E-mail nagamachiso@yamagata-saiseikai.org



特別養護老人ホームながまち荘施設長
岩崎 勝也

早春の候ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また平日頃より当荘の運営にご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。さて、昨今の社会情勢の変化に伴い、福祉ニーズは多様化かつ複雑化しており、さらにはエネルギーコストや物価の高騰、そして急速な人材不足など、大変厳しい状況が続いておりますが、当施設では、より良いサービスの提供と施設運営の安定化を目指し、いくつかの取り組みを進めております。

今後、特定技能制度を活用し、ミャンマーからのグローバル人材2名を受入れし、新たな風を吹き込むこととなりました。この取り組みは人材不足を単に補うだけでなく、多様な文化を持つ人材との出会いを通じて、職員一人ひとりの視野を広げ、より一層、入居者の皆様への思いやりを深めていきたいと考えております。

また、「見守りカメラ・無線ナースコールシステム」導入により、入居者の皆様の安全確保はもちろんのこと、職員の業務効率化も図ることができ、よりきめ細やかなケアを提供できるようになりました。ロボット・センサー・ICTといった最新のテクノロジーを活用し、介護の生産性向上（業務改善）、介護の質を維持・向上させていくことは、入居者の皆様だけでなく、ご家族様にとっても安心につながると確信しております。

当施設の施設理念は、「自立支援介護」「人間尊重」「地域福祉拠点」「人材育成」の4つです。自立支援と尊敬の保持を基軸に、さらに質の高い介護サービスを提供し、地域社会への貢献と、多様な人々が共生できる社会の実現を目指してまいります。

今後とも、職員一同、融和協調の精神のもと一丸となり、より良い施設づくりに努めてまいりますので、皆様のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

ケアフォーラムにて研究発表

2月2日、山形県済生会の福祉施設・訪問看護ステーションによる研究発表大会「山形県済生会ケアフォーラム」が当荘で開催され、各施設から全8チームが参加しました。当荘からは岸優弥介護職員が自然排便を促すための取り組みについて発表を行い、最優秀賞に次ぐ優秀賞を受賞しました！



岸 優弥 介護員より

今回の発表では、以前から課題意識をもっていた「自然排便を目指して、下剤ゼロの取り組み」というテーマを掲げ、約6カ月間下剤を減らす取り組みを実践しました。

自然排便を促すにあたり入居者の「楽しみ」にも繋がる介入を目指しました。例えば飲水量を増やすために味のついた飲料に寒天を溶かし入れデザートとして提供したり、下腹部（腸）が動くような身体のひねり運動と、運動時に笑いを意識した声がけや会話も取り入れ、腹の底から動くよう考え実践しました。結果として下剤の軽減に繋げる事ができ、心地よいコミュニケーションの間も持つ事ができました。今後も研究を通して学んだ事を活かし、入居者の方々の楽しみに繋がる支援を考え提供していけたらと思います。



ケアマネ25名が集結！ 「合同事例検討会」

居宅介護支援事業所

令和7年1月15日、市内鈴川交流センターにて、近隣地域の5つの居宅介護支援事業所のケアマネジャー25名が集まり「合同事例検討会」が開催されました。今回、当荘では第一部の事例提供を担当しました。5グループに分かれ討議した後、解決案を発表してもらいましたが、当事業所内だけでは思いつかなかった案を多数いただき、事例提供者も解決の糸口が見つかったようでした。

第二部では保険証の「マイナンバーカード」への移行に係るケアマネジャーの支援の在り方を題材に話し合いが行なわれ、我々がどこまで介入すべきか互いに確認する場となりました。また日常業務での悩み事を相談し合ったり、お互いを労ったり…。普段交流機会の少ない居宅介護支援事業所同士ですが、今回はざつとばらんに意見交換ができる貴重な時間となりました。



いきいき百歳体操(※1)の 立ち上げ支援の取り組み

なでしこ地域包括支援センター

百歳体操の立ち上げ支援のきっかけは、出羽第6高砂会（紅嶺会）の代表の方から「健康増進のために体を動かしたい」という声をいただいたことでした。この声を受けて、山形市社会福祉協議会の生活支援コーディネーター(※2)と協力し、代表の方とともに計画を立て、百歳体操の体験会を開催しました。体験会には約20名の住民が集まり、「またやりたい」という声が寄せられ、大盛況のうちを終了しました。

その後、地域住民の声を受けて、代表の方が地域にチラシを配布し、参加を呼びかけました。そして、令和6年12月16日には記念すべき第1回目の百歳体操が開催され、現在も週1回の活動を継続しています。

コロナ禍で地域活動が停滞した時期を経て、代表の方が地域の声を反映させて百歳体操を立ち上げた行動力に感銘を受けました。今後とも地域の皆様の健康づくりを支援していきたいと考えています。

※1 「いきいき百歳体操」…筋力を鍛える運動で、DVDを見ながら、椅子に座ってゆつゆと手足を動かします。
※2 「生活支援コーディネーター」…地域で助け合える仕組みづくりのお手伝いをしています。



「認知症予防教室」を開催！

おれんじサポートチームえがお

おれんじサポートチームえがおでは、山形市より委託を受け「認知症予防教室」を毎年開催しています。主な内容は認知症及び認知症予防の普及啓発活動で、今年度で8回目を迎えました。

今回、北部圏域の明治地区と高瀬地区2ヶ所の住民を対象に、全3日間コースで認知症予防の柱である運動・栄養・口腔・社会参加について実技を交え学んでいただきました。

受講前に認知症のイメージを伺うと「自分が分からなくなる」「家族に迷惑がかかる」「気の毒だ、絶対になりたくない」等の言葉がありました。しかし、受講後は「認知症の講座を繰り返し受けるたびに理解も深まった」「誰もがなる症状をいかにゆつくり迎える事ができるのか、その術を学べて良かった」「認知症になった方の経験を聞きたい」等、認知症に対する前向きなご意見をいただくことができました。

地域の皆様が認知症を知り備え、認知症になっても安心できる地域づくりを目指して活動していきたいと思っております。



優秀賞 安全管理委員会

《デイの場合》

環境因子
デイホール
9時台 16時台

- 移動や起立・着座の機会が多い
- 最も長く過ごす場
- 送迎時間 = 職員が手薄

考察

個人因子
要介護2
本人の要因

- 老年症候群（筋力、視力、注意力の低下や服薬の影響など）
- 要介護2の特徴（機能低下が軽度、福祉用具の操作に不慣れ等）

対策

- 事故発生場所の細分化
物的環境の整備
- 意識の共有
少人数毎の移動
職員間の声の掛け合い
- 高リスク者のリスト作成
個別ケアの徹底
日々の体調確認
家族・職員間の情報共有

統一したデータの分析によりこれまで見えてこなかったことがみえてくることがあります。今回の事故の検証を基に、**職員研修を実施したり、入居者・利用者の生活(QOLの向上)**に活かしていきたいと思えます。

テーマ：事故分析から見えてきたこと

安全管理委員会では、転倒や外傷など施設内で起こる事故を「発生場所」「発生時間」「介護度」「事故要因」の4つの面から分析し、事故防止の対策案を改めて検討しました。一部抜粋してご紹介します。



努力賞 高齢者虐待防止・ 身体拘束廃止委員会

《虐待の5類型の理解推移》

年度	身体	ネグレクト	心理	性的	経済
平成29年度	73%	70%	57%	71%	68%
平成30年度	93%	91%	92%	93%	91%
令和5年度	100%	100%	98%	99%	99%

↑繰り返しアンケートを行ってきた事とマニュアルの周知徹底を行った事で職員全体の理解が進んだ。

テーマ：高齢者虐待防止アンケート調査における職員の変化について

高齢者虐待防止・身体拘束廃止委員会においては、施設全体の高齢者虐待防止に関する知識や対応力の向上、及び意識強化を図る事を目的に平成29年度より毎年全職員を対象にアンケートを実施してきました。職員の虐待に関する理解が促進されている事、不適切ケア防止への意識の高まりがみえました。

《不適切な対応を行わない為に取り組むべきことは何か》

- ・他の誰でもなく利用者様のためだという事を絶対に忘れない。
- ・自分の親だっただと、尊敬の気持ちをもつ。
- ・知識を増やすことで対応は変わる。
- ・常にパーソン・センタード・ケアを心掛ける。

(職員の声/一部抜粋)



努力賞 個別ケア検討委員

テーマ：口腔ケアに強い拒否感がある入居者に対する介入について

個別ケア検討委員会では、それぞれ違う理由で口腔ケアに拒否感の強い入居者に対して目標を掲げ、お互いに安全に気持ち良く口腔ケアを実施できる方法を職員みんなで模索しました。(一部抜粋)

A様(要介護3・脳出血・高次脳機能障害)

- 目標
・口腔ケアに対し拒否が強く、習慣化できるように対応
・口腔内の清潔保持、口臭予防を図る

- 方法
毎食後、嗽から促す
食席で拒否が強い場合は居室洗面場にて対応
食前にベッドアップし、嗽後に離床対応
いずれの場合でも拒否が強い場合は無理強いしない

- 最初の1週間程は拒否が強く殆ど行えていない状況
- 談話室内から居室洗面場かベッド上へ場所を変更
- 1日の内でも拒否がある場合もあるが、徐々に行えた。
- コップを手渡すと手に持ち、自ら行ってくれる

環境やプライバシーに配慮した事で介入に成功。職員同士の情報共有により良い結果が出た。



第一回 荘内学会開催!!

令和6年11月11日の【介護の日】に合わせて「第一回荘内学会」を開催しました。学会の目的は**サービスの質の向上**と、**組織の活性化**。そしてこれが仕事が楽しくなるきっかけになればという施設長の思いから今回、初の開催に至りました。内容を一部抜粋してご紹介したいと思います。今回の発表者は個別ケア委員会、安全管理委員会、環境整備委員会、高齢者虐待防止委員会(兼)身体拘束廃止委員会の4つの委員会。最優秀賞に選ばれたのは環境整備委員会でしたが、どの委員会にも共通する“利用者様の生活をより良いものにしていきたい、職員一丸となって職場環境を改善したい”という専門職たちのプロ意識を全員で共有する事ができ、胸が熱くなる想いでした。来年度もまた介護の日開催予定です。

最優秀賞！ 環境整備委員会

テーマ：ながまち荘を整える活動

環境整備委員会では**5S(整理・整頓・清掃・清潔・習慣づけ)**活動を通して、職員の意識改革から始め、職場環境の改善や安全性の確保等を目指した取り組みについて発表しました。

5S活動

整理
必要なもの/不要なものを分け不要なものを処分する

習慣づけ(躰)

4つのSを習慣づけ職員のモラルを向上させる

清潔

整理・整頓・清掃をマニュアル化し清潔な状態を維持する



整頓

作業手順や使用頻度を考慮して資材や工具などを決められた場所に置く

清掃

清掃や点検などメンテナンスを行いきれいで使いやすい状態を保つ

具体的活動の一例

①職員の意識づけ



●例えば廊下に置かれた車椅子。どこにでも置いていいというこれまでの意識改革を図り生活の場であるという意識、整理整頓された空間を維持する意識を持ってもらった。

②感染対策

- 各居室入口にゴミ箱を設置し感染防止を図る。
- グローブの配置(置き方)を統一する事で見た目もキレイで無意識でも**素早く装着**できる!



③住環境のメンテナンス

- 剥がれたトイレの壁紙を、クッション性のある材質のものへ貼り換える事で怪我の予防に。
- 壁紙を明るくしたことで夜でも明るい空間へ。
- 衛生的にも清潔な空間になった。



トイレの壁紙が剥がれている

自分達で貼り換えてみる?



幸せの黄色いトイレが完成!

複数の職員が「いつ見ても同じところに同じものがある」という環境を維持する事は基本的ではありながらも重要なこと! 組織全体で取り組むことで業務効率化の向上、ミスや事故の防止につながる。また自分で整理整頓、修理をすることで『愛着』や『保持』につながれば、さらにより良い環境を共有していけると思えます。

デイサービス (通所介護)

メリークリスマス

今年もクリスマスケーキを楽しんで頂きました〜♪
「来年は何味が出るのかな〜♪」とすでに来年のクリスマスを楽しみにされている方もいらっしゃいました！みんなで美味しいものを食べる幸せ〜♥



『元気になる介護』をモットーに、利用者様の願いの実現に向けた自立支援介護を推進していくまでも住み慣れたご自宅いきいきとした生活を続けられるよう支援して参ります！

塗り絵コンクールに出品します!!



余暇時間に、塗り絵を楽しんでいるUさん！色使いがとても上手なので是非参加しませんか？とお声を掛けさせて頂いたところ「やってみようかな！」と！何歳になってもチャレンジするのはいいですね！



折り紙職人参上

日頃、笑顔がステキなTさん♪
折り紙になると、細かいズレも許さない(笑)もはや折り紙職人認定!!

餅つき&獅子舞

1月7日〜9日の3日間で餅つきを行いました！「よいしょー!!」と大きな声がホール内に響き渡り、一年間の無病息災を祈りました♪



ショートステイ (短期入所)

12月 クリスマス うまいなあ〜

壁画製作

9月 敬老会



おめでとうございます。いつまでもお元気で!



104歳!!

1月 お正月

今年一年みなさんにとって良い年でありますように。



みなさんニコニコ笑顔で召し上がってました。

昼食でおせちをいただきました。



みんなでケーキを食べました

1月 山形の冬と言えば…あじまん♪



レクリエーション活動



ショートステイより

ご家族の抱えておられる不安や悩み事に、送迎時や連絡帳でのやり取りの中でお応えし、ご家族に共に寄り添う姿勢を大切にしています。

身体を使ったレクはご利用様に好評です。

敬老会



ご家族と過ごしとても尊い時間となりました。(写真は100歳越えのお二方です)

焼き芋

大きいホクホクのサツマイモ!

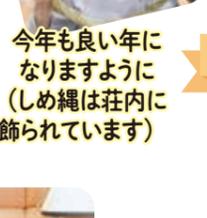


芋振り



しめ縄作り

今年も良い年になりますように(しめ縄は荘内に飾られています)



晴天の下ゴザの上で芋振り!

干し柿作り



今年はストロベリーケーキ、プリン皆さん美味しいと好評でした!

クリスマス



素晴らしいハンドベルの演奏でした♡

お正月の上生菓子、クリスマスのスイーツは、家族会より提供いただきました。ありがとうございました!

ホーム (長期入所)

紅葉ドライブ



山寺等綺麗な紅葉が見れました。

アート展



プリンと上生菓子



初釜

ボランティアの方がお茶をたてて下さいました。

お正月



職員、入居者様と一緒に作成した蛇年の作品です。

獅子舞



節分



普通救命講習

大切な命を守るために

令和7年1月23日から2月6日までの期間で3日間、山形市消防署の方を講師に迎え、普通救命講習が行われました。職員36名が受講し、修了後は普通救命講習修了証をいただきました。事前にウエブ講習で心肺蘇生やAEDの使い方学び、当日はグループに分かれて実技を中心に学びました。

講師からは、胸骨圧迫のポイントとして「強く！速く！絶え間なく！」行うことを教わりました。この講習を通じて、大切な命をつなぐためには、一人ひとりが勇気を持って行動する必要があると感じました。実技を行う中で、手順に戸惑う場面もありましたが、手順を声に出しながら行うことで、落ち着いて対応できることを実感しました。また、周囲の人に協力を求め、連携して対応することの重要性も学びました。

高齢者施設では、利用者の状態がいつ急変するか分かりません。緊急時に適切な対応が行えるよう、今後も定期的に学び続けたいと思います。



第2回けあらーずカフェながまち開店!

令和6年10月31日、地区のコミュニティセンターにて地区住民を対象とした「けあらーずカフェながまち」を開催しました。カフェには住民17名の他、済生病院のソーシャルワーカー、山形市社会福祉協議会の生活支援コーディネーターなど全員で23名の参加があり、当荘からは職員7名が参加。

ヤクルトさんより「腸」についてご話いただいた後、当荘デイサービスとのコミュニケーションを設けました。「子育てと介護を両立しながらも自分の人生も楽しんできた」という心強いお話や、「地域のみんなと繋がりがたくて参加した」、「健康を保つ為に頑張っている事」など様々なお話をおうかがいする事ができました。

最後にはそれぞれの人生に思いを馳せながら、全員で美空ひばりの「川の流れのように」を歌い、笑顔で閉会しました。

地域福祉の拠点として、今後も住民の皆さんが繋がる場を作っていきたいと思っております。



苦情報告

令和6年度につきましては、苦情は寄せられませんでした。気になる点がございましたら、お気軽に相談やお問い合わせいただけますと幸いです。

おしらせ

ブログ&Instagram

ながまち荘だけでなくご紹介できない行事や取り組みをブログやInstagramに掲載しています。ぜひご覧ください。

ブログ
<https://www.yamagata-saiseikai.org/nagamachiso-blog/>

Instagram
やっています!
@nagamachi_day
ながまち荘デイサービス

編集後記

今年度は夏パーティーやクリスマス会などの行事を活発に行い、利用者様と職員一緒に楽しい時間を過ごすことができました。また、コロナ禍以降久しぶりに全職員が集まった研修会や荘内学会も開催することができ、職員同士の交流も図ることができました。今後も職員一丸となって利用者様が過ごしやすい施設となるよう、介護サービスの質の向上を意識してまいります。

広報委員 / 岩崎勝也、高見友郁、三浦真澄、佐々木香織、鈴木郁苗、種本佳奈恵、村岡千成実、岡崎倫子、武田はるか

職員募集

時間や仕事内容等は下記までご相談ください。介護の仕事が未経験の方も大歓迎です。

問合せ先 **ながまち荘(代表) 023-684-2391**
業務主査 手塚敬一郎